

通信・放送確保訓練の振り返り勉強会を七尾で開催

総務省北陸総合通信局（局長：吉武 久）は、平成29年3月27日（月）、平成28年度石川県防災総合訓練にて当局と連携して通信・放送確保訓練を実施した自治体及び放送事業者のご出席を得て「通信・放送確保訓練に関する勉強会」を七尾市役所内会議室で開催しました。訓練の振り返りにより災害対応の手順や連携体制を再確認するとともに、地域防災力のさらなる強化に向けた今後の課題を議論しました。

開会に当たり、北陸総合通信局の瀬高隆裕防災対策推進室長が「今回の勉強会を通じて、石川県、七尾市、NHK金沢放送局、(株)ラジオななお、北陸総合通信局の間の連携をさらに強化しつつ、防災対策強化の取組みを着実に進め、地域の安心・安全に貢献したい。」と述べました。

勉強会では、NHK金沢放送局から、臨時地デジ中継局開設訓練の成果を発表していただきました。ラジオななおから、実際に訓練当日に放送したラジオ番組を再生しながら臨時災害放送局開設訓練の成果を発表していただきました。北陸総合通信局から、MCA無線機を使用した非常通信訓練の成果を発表しました。その後、災害時に住民向けの放送を確保する際の課題やMCA無線機など災害対策用移動通信機器の活用方法等について意見を交わしました。

参加者からは、「非常用送信車を設置することとなる土地・施設管理者の理解を得ることが重要」「臨時災害放送局の放送機材はコンパクトで場所を取らないし大勢の運営スタッフを必要としないが、関係機関から臨時災害放送局へ災害情報を提供する体制を考えておく必要がある」「自治体とコミュニティ放送局が臨時災害放送局の開設に関する協力協定を締結しておくことは、住民への情報提供体制の確保の観点から重要」「MCA無線機は操作が難しいと思っていたが意外と簡単で音質も良かったので今後の訓練でも活用したい」などの意見が寄せられました。



挨拶する北陸総合通信局
瀬高防災対策推進室長



勉強会の様子

勉強会出席者の皆様



石川県危機管理監室危機対策課(左から)
大野課長補佐、松井専門員、山下主事



七尾市市民生活部防災交通課(左から)
一瀬課長、辻専門員、村田主事



NHK金沢放送局(左から)
辻様、藤井様



株式会社ラジオななお(左から)
松本様、畠中様、中川様



北陸総合通信局(左から)綿谷放送課長、
吉田陸上課長、竹田課長補佐、上川上席電波検査官

今後も当局では、災害時における住民への迅速かつ正確な情報伝達手段の確保に資するため、実践的な防災訓練の実施の他、このような勉強会の開催など当局・自治体・放送事業者の3者の「顔の見える関係」の構築・維持に取り組んでまいります。

お問い合わせ先
防災対策推進室、放送課 076-233-4479